

義ノ一環ニ於ケル日本國內資本主義經濟ハ國際經濟破壞ノ重壓ト國內資本家階級ノ誤レル產業經營トニ依リテ日本資本主義ノ凋落的害禍軌道ヲ疾走シツ、モ、彼等ノ最後的狂燥ハ飽迄其ノ犠牲ヲ勤労大衆へ轉嫁シ、爾來強制的貨銀引下ゲノマニ勞働ハ益々重化シ、非常時インフレシヨンヲ操リ副產物タル流行フアシヨヲ便衣隊トシテ辛ジテ其ノ余命ヲ繫ガントセリ

見ヨー忠君愛國ヲ看板ニ資本階級ニ忠實ナルフアシヨ便衣隊ノ行衛ヲ見ヨ、僅力一年余ノ今日寒風ニ吹キ晒サレタ案山子ニ等シキ物デアル、彼等フアシヨノ認識不足ヨリ視タ所謂五、一五事件ノ全貌ハファシヨ黨看板ノ如キ通浴的ナ國粹愛國主義ニ非ズシ、其ノ公判ニ於ケル被告ノ陳述ハ財閥持權階級ノ不當搾取既成政黨ノ腐敗墮落、労働者農民ノ窮乏困苦等々ガ主觀的動機ニシテ、我等自主的組織労働者ガ永年血涙ヲ以テ主張摘露シテ來タ事ト全ク合致スルハ遇然ニシテ又事實デアル、只其ノ實行手段ニ於テ我等組織労働者ハ勤労階級自主的組織ト統制秩序アル大衆行動ノ壓力ヲ以テ匡正セシムル處ヲ我等が多年排撃セルテロヲ以テ手段トシタ處ニ相違スルノミデアル、我等ハ靜力ニ社會動制ヲ觀察スルニ此ノ五一五事件ノ投ジタル一石ニヨリ著ク社會情勢ノ變化ヲ見ル永年徒ニ空論ヲ弄シ健實ナル大衆組織運動ノ發展ヲ阻害シテ來タ共產主義モ、自己ヲ清算シ今日合法主義ヘノ轉向ヲ見ル又ファシヨ黨ノ潰滅ト既成政黨陣營中ニ労働組合主義者ノ發生等々近時ノ現象デアル、我等自主的労働組合主義精神ハ之レ是ナリトシテ社會ニ認證セザルヲ得ザル情勢ニ立至ツタノデアル、此ノ時ニ當リ我等ハ更ニ進ミ異状ナル決心ヲ以テ一貫總同盟旗ノ下ニ、未組織大衆ヲ誘動シ戰列ノ擴大ヲ計リ、大衆陣形整備ノ下ニ没落資本主義ヲ打倒シ、一切ノテロヲ排シ彈壓ト迫害ヲ躡致シ一路勤労大衆開放ニ向ツテ邁進セン事ヲ誓フモノデアル。

右宣言ス

昭和八年十月一日

日本労働總同盟セメント労働組合門司支部
結成五周年記念第六回年次大會